

令和5年度公開研究発表会（都庁都民ホール）

日頃の研究成果を東京都環境科学研究所の研究員が発表します。

どなたでも予約不要・無料でご参加いただけます。

- 日 時：令和6年1月12日（金曜日）午後1時30分から午後4時40分まで（午後1時開場）
- 場 所：都民ホール（都庁 都議会議事堂1階）及びオンライン配信
- 参加方法：都民ホール（先着250名）オンライン配信（参加方法は研究所HPでご案内）

■ 基調講演

水草はなぜ水中を生きるのか？ - 驚愕の進化と生態、そして危機 -

国立科学博物館 植物研究部

多様性解析・保全グループ研究主幹 田中 法生 氏



■ プログラム

時間	発表タイトル	研究員
13:30 ～13:35	開会挨拶	東京都環境科学研究所 所長 今村 隆史
13:35 ～14:30	基調講演 水草はなぜ水中を生きるのか？ - 驚愕の進化と生態、そして危機 -	国立科学博物館 植物研究部 多様性解析・保全グループ研究主幹 田中 法生 氏
14:30 ～15:00	研究発表 東京湾沿岸域に成立するコアママ場の分類とその特徴	環境資源研究科 主任研究員 石井 裕一
15:10 ～15:40	研究発表 東京都内の水環境における医薬品類の生態リスク 評価と課題について	環境リスク研究科 主任研究員 西野 貴裕
15:40 ～16:10	研究発表 都市域および都市のバックグラウンド地点における 大気中VOC濃度について	環境資源研究科 副参事研究員 星 純也
16:10 ～16:40	研究発表 公共施設のゼロエミッションビル化に向けて - エネルギー消費構造の分析及び先進事例の学び -	次世代エネルギー研究科 研究員 奥野 千央

その他の研究成果について、都民ホール前ロビーにてポスターを展示します。

展示ポスターは13：00～13：30と16：40～17：10の間は研究員が解説します。

裏面に各発表内容の詳細を掲載！



発表詳細

基調講演

水草はなぜ水中を生きるのか？ – 驚愕の進化と生態、そして危機 –

国立科学博物館 植物研究部 多様性解析・保全グループ研究主幹
(筑波実験植物園研究員兼任) 田中 法生 氏

13:35

～

14:30

水草は、陸上の植物から水中へ進出した、言わば“植物界のクジラ”です。慣れ親しんだ陸上を離れて水中で生きるために何が必要だったのか？なぜ水中で生きられるのか？水草の生態とその進化について、最新の研究を交えて紹介します。また、その危機的状況と保全の取り組みから、水草の現在地と将来について考えます。

研究発表

東京湾沿岸域に成立するコアマモ場の分類とその特徴

環境資源研究科 主任研究員 石井 裕一

14:30

～

15:00

内湾の沿岸域などで繁茂する海草コアマモは、稚仔魚の生育場、ブルーカーボンとしての炭素の貯留など多くの有益な機能を有しています。しかしながら、沿岸域での人間活動の影響によりコアマモ場は消失の危機に瀕しており、保全に向けた対策が求められています。

本発表では、コアマモ場の保全に向けて実施した調査研究の結果から、東京湾沿岸域のコアマモ場の環境因子による分類とその特徴について紹介します。

研究発表

東京都内の水環境における医薬品類の生態リスク評価と課題について

環境リスク研究科 主任研究員 西野 貴裕

15:10

～

15:40

本研究所では、これまで東京都内の水環境において、ヒトの日常生活などから排出される医薬品類等についてその濃度実態を調査してきたとともに、それに伴う水生生物に対するリスクの評価をしてきました。その結果、クラリスロマイシンをはじめとした抗生物質が「水生生物に対する予測無影響濃度」を超過する地点が複数地点存在しました。

また、その排出実態について人口との相関についても取りまとめたので、その内容を報告します。

研究発表

都市域および都市のバックグラウンド地点における大気中VOC濃度について

環境資源研究科 副参事研究員 星 純也

15:40

～

16:10

都市域の光化学オキシダントは原因物質の窒素酸化物や揮発性有機化合物（VOC）の濃度が低減しているにも関わらず高い濃度で推移しています。都市域におけるVOC濃度は地域の排出源の影響に加え、バックグラウンドとして存在、流入する濃度も影響している可能性があります。

本講演では東京都を中心とした都市のVOC濃度とそのバックグラウンドとなる地点の濃度を概説し、都市におけるバックグラウンドの影響の検討結果を報告します。

研究発表

公共施設のゼロエミッションビル化に向けて – エネルギー消費構造の分析及び先進事例の学び –

次世代エネルギー研究科 研究員 奥野 千央

16:10

～

16:40

東京都は、率先行動として、都有施設のゼロエミッションビル化を目指しています。東京都環境科学研究所では、都有施設のゼロエミッションビル化に向けて、都有施設のエネルギー消費状況の分析、ゼロエミッションビル化に向けた課題の整理、先進的な取り組みの調査を実施しています。

本発表では、その調査内容及び結果について報告します。

ポスター発表

- ・「隅田川SDGs ごみ一つ残さないプロジェクト」に取り組んで（報告）
- ・使用過程車からの亜酸化窒素の排出実態について
- ・近赤外線分光光度計によるプラスチック判別における精度向上に関する研究
- ・小笠原諸島父島の河川等における微量元素類の分布状況について
- ・水素蓄電設備の環境学習施設への導入について

13:00～13:30・16:40～17:10の間は
ロビーで研究員が解説します！

※ 内容は一部変更になる場合がございます。

アクセス

- ・各線新宿駅 西口から徒歩約10分
 - ・都営大江戸線都庁前駅 A3出口直結
- ※公共交通機関を利用して、ご来場ください。

